

役割を愚直に追求する

学校長 豊田 真陸将補

東京2020オリンピックと北京冬季オリンピックが開催された昨年度は、自衛隊体育学校として創立60周年の節目の年でした。新たな第一歩となる今年度、学校創立の原動力に立ち返り、校務を運営してまいります。

学校職員「アスリートが一丸となって、陸海空自衛隊の体育・格闘能力の向上」及び「五輪おける又



水深3メートルの国際水泳場で練習する水泳班選手

めざすはオリンピック

体育学校 さらなる飛躍へ一丸

緑なす広大な陸自朝霞駐屯地の一角に置かれる自衛隊体育学校。国内有数のトレーニング施設・設備を誇り、各部隊等の体育・格闘指導者を育成、多くの五輪メダリストも輩出している自衛隊体育の「殿堂」とも言える。学校長の下、一丸となってさらなる飛躍を目指す同校を紹介する。



体育班助教(中央)の説明を聞く「曹体育課程」の参加学生=体校広報班



ADVANCED COMBATIVES

上級格闘指導官課程

ADVANCED COMBATIVES INSTRUCTOR COURSE

体育・格闘指導者を育成

「上級格闘指導官課程」に全国から参加した隊員と体校格闘・武道班の教官・助教(最後列)=体校広報班

11個班選手「己に勝つ！」



パリ五輪出場を目指し練習に励むレリング班選手

研修センターの低酸素室では酸素濃い高地を想定したトレーニングが行える=体校広報班



第1教育課は体育・格闘指導者の育成を担う。今年、武道(剣道、武術、銃剣)度実施する課程教育・集合(道)・集訓(訓練)は、上級が幹部体育専修幹部体育、格闘指導官(資格更新)と上曹体育専修、曹体育、上級指導官養成をそれぞれ行う。



近代五種は馬術も行うため自衛隊で唯一、敷地内で馬も飼われている



充実した練習設備がそろったトレーニング室



東京五輪で5個のメダル

東京五輪(昨年7〜8月)に第2教育課からも10競技に17人が出場、体育学校史上最多となる5個(金3個、銀・銅各1個)のメダルを獲得した。国内を沸かせた3人のメダリストから又々メダルが届いた。

濱田尚里(はまた・しょうり)1陸尉「柔道女子銀メダル」同課団体のメダルを「自分の柔道をくぐり、2陸曹レリング班のメダルも高めていきたい。で、フリースタイル65kg級金メダル、ボクシング女子の2年後のパリオリリンピックで活躍するよ。東京オリンピックを経験して、インカルの差を痛感しました。強化ポイントなどを見直し、感謝しています。特に、朝霞駐屯地を拠点にしたトレーニングの内容や最後のメダルセレモニーで、さんが頑張ってる姿を見、一から取り組んでいいる姿が心癒されました。おとろく、た、と世界で戦った元メダリストのサポートが、周りの支えがあったからだと改めて思います。」

メダリストからメッセージ
濱田1尉「柔道もつと高める」
乙黒2曹「隊員に元氣もらおう」
並木3曹「支えがあったから」



岸防衛大臣(東京五輪の成果報告を行った乙黒2曹(右端)、並木3曹(右から3人目)、濱田1尉(左端))防衛省広報班



体育学校全景。同校庁舎(右奥)などが並ぶ=体校広報班

女子選手も男子に負けじ

「テッパチ！」の舞台にも



全自陸上女子100m走でゴールする隊員・学生。陸上競技場はドラマの舞台にもなった=体校広報班

冬季特体選手は 北京五輪で健闘

五輪を頂点とする国内外の大会での成果獲得を任務とする第2教育課は、全日ドラム・ハンカリーの70名が在籍している。前回は、6月のW杯ファイナルで4位に入賞した。昨年度は、6月の東京大会まで、五輪14年東京大会、昨年10月の世界選手権、銀5個、銅9個を獲得した。一方、真駒内駐屯地で活躍する冬季特別体育教育室の選手は、バイアスロンとクロスカントリースキーの2大会連続の五輪出場を目指し、レリング班の乙黒2曹(左)、濱田1尉(右)が活躍した。男子選手は、女子選手も活躍を見せ、世界の強豪相手に全力を尽くした。



北京冬季五輪・バイアスロンで力走する立崎2尉(長田浩平)アフロスポーツ

国内有数の施設と設備 第1、第2両教育課など置く

